

大腸内視鏡検査を 受けられる患者さまへ



- 大腸内視鏡検査とは肛門から内視鏡を入れ直腸から結腸、盲腸までを内視鏡で直接見て調べる検査です。
- 検査時にポリープなどがあった場合にはポリープの細胞を取って調べたり、切除することもできます。
- 当クリニックでは、拡大内視鏡システムを使用した精度の高い大腸内視鏡検査を行っています。

検査の準備

- 抗凝固剤服用中の方は / から中止してください。

検査前々日（ / ）

- 夜 9 時にラキソベロン錠 3 錠をコップ 1 杯（200ml）以上の水とともに服用してください。

検査前日（ / ）

- 夕食は夜 7 時までに済ませてください。また、きのこ類、海藻類、白菜、ゴボウなどの繊維の多いものや種の多い果物（スイカ、キウイなど）は控えるようにしてください。
- 夜 7 時以降は絶食していただきますが、それ以降も透明な水分（水、お茶など）は十分に取ってください。
- 夜 9 時にラキソベロン液 1/2 本（5ml）をコップ 1 杯（200ml）以上の水とともに服用してください。
- 夜 10 時に残りのラキソベロン液 1/2 本（5ml）をコップ 1 杯（200ml）以上の水とともに服用してください。

検査当日（ / ）

- 普段飲まれているお薬は朝 7 時までに服用してください。但し、血糖を下げる薬や注射は中止してください。
- 絶食は継続してください。
- 朝 8 時からマグコロール酸 100g に水 1800ml を入れて溶かし、コップ 1 杯（200ml）ずつ 1～2 時間かけて（コップ 1 杯 15 分目安で）全量を飲んでください。
- 途中で透明な水分（水、お茶など）やアメ、ガムなどは取っていただいて結構です。
- 検査予約時間の 10 分前には来院して、受付に診察券と検査予約票、検査同意書を提出してください。
- 来院時に便の状態を看護師にお伝えください。
- 絶食ができなかった場合は検査前にご連絡ください。検査日を延期させていただく場合があります。

前処置に関する重要事項

- 前処置の下剤を服用した後に、嘔気、嘔吐、強い腹痛や下血、めまい、ふらつき、血圧低下などが出現する場合がありますので、そのような症状があらわれた場合はすぐにクリニック（075-571-7181）に連絡してください。
- 検査当日の下剤を服用してから、午前 11 時までには排便が一度もない場合は必ずクリニックに電話で連絡をお願いします。
- 前処置の下剤を服用される場合は、必ずお家にほかの誰かがいる状態で服用してください。やむを得ず、ひとりで服用される場合はあらかじめお申し出ください。

鎮静剤に関して

- 大腸内視鏡検査ではより楽に検査を受けていただくためにご希望があれば鎮静剤を使用することがあります。
- 鎮静剤は検査終了後も数時間（2～4 時間）作用が持続し眠気が起こることがあります。このため検査当日の車（自転車、バイク、自動車）の運転は控えていただいていますので、その旨ご了承ください。
- もし当日車を運転して来院された場合は、鎮静剤使用のご希望があった場合でも鎮静剤を使用せず検査を行うこととなりますので、ご理解をお願いいたします。

大腸内視鏡検査の偶発症に関して

- 検査は通常何ごともなく終了しますが、非常に少ないある一定の確率で偶発症（合併症）が起こります。偶発症には軽微なもの（腹部の張りや肛門からの少量の出血）から非常に重篤で死に到るもの（意識障害、ショック、致死的不整脈、心停止など）までが報告されています。全国で起こっている重篤な偶発症は前処置（下剤）による腸管穿孔や腸閉塞、虚血性大腸炎、内視鏡挿入中の腸管穿孔などがあります。また、ポリープ切除術による腸管穿孔や腸管からの出血も報告され、死亡例は 13 万件に 1 件の割合で起きています。
- 当クリニックでは偶発症が起こらないように十分な体制で検査を行っておりますが、検査中に偶発症が起こることが予測できる場合、検査を中止することがあります。

- 抗凝固剤（血をさらさらにする薬）を服用されている患者さまは細胞の検査をするために一時的に（薬により 1～14 日間程度）お薬を止めていただく必要があります。しかし病状によってはお薬を止めることにより脳梗塞や肺梗塞、脳血栓などが起こり最悪の場合死亡することもありますので、お薬を止めてよいかどうかを、お薬をいただいている先生と相談していただくこともあります。
- 検査について不安な点があるようでしたら、検査前にお気軽に医師や看護師にご相談ください。また、検査後にも不安や異常がありましたら、当クリニック（TEL 075-571-7181）までご連絡ください。

検査後

- 鎮静剤を使用した方は、当日自転車、バイクや車の運転は控えてください。
- 検査中に色素散布をおこなった方は排便時に緑色の液体がでることがありますが、心配ありません。
- 検査結果は当日説明しますが、組織検査をした場合は約 10 日後に再診していただきます。
- お食事は検査後から普通のを食べていただいて結構ですが、当日は消化のよいものとしてください。
- 強い腹痛などが出てきた場合はすぐにクリニック（TEL 075-571-7181）に連絡してください。

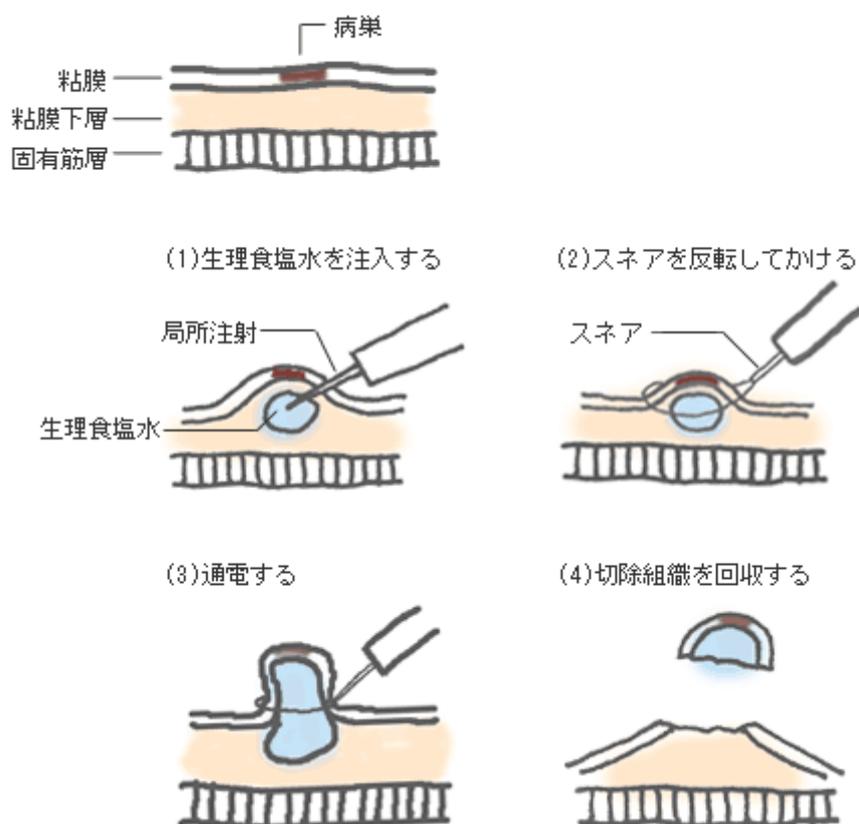
ポリープを切除された方へ

- お食事は夕食から食べていただいて結構ですが、うどんやお粥のような消化のよいものとして刺激物は避けてください。
- 検査当日の入浴はシャワー程度としてお風呂につかるのは避けてください。
- ポリープを切除した部位から出血する場合や少し遅れて腸管穿孔が起こる場合がありますので、赤い便が出たり強い腹痛が出てきた場合は、すぐにクリニック（TEL 075-571-7181）に連絡してください。
- 1 週間は運動や旅行などとアルコールは控えてください。
- ポリープの組織の結果説明のため約 10 日後に再診してください。

大腸ポリープ切除術に関して

- 5mm 以下の小さなポリープに関しては、悪性の所見がない限り切除せず経過観察で十分とされていました。しかし最近はお本人の同意があれば、将来の癌への伸展予防のために切除することが推奨されています。また、5mm を超えるポリープは可能な限り切除することが推奨されていますが、ポリープの大きさやできている場所により切除が困難な場合や、入院での治療が望ましいと判断される場合には、観察のみで切除は行わず、入院設備のある病院にご紹介する場合があります。その場合は検査中にご説明しますので、あらかじめご了承ください。
- 大腸ポリープの切除は、ポリープのすぐ下に液体（ヒアルロン酸）を打ち込みポリープを浮かせて、ポリープの根元に高周波ワイヤーをかけて絞り込み、電気を通し切除する方法で行います。

<EMRの手技>



- また、10mm 以下の小さいポリープではスネアと呼ばれる金属ワイヤーで直接切除する場合があります。

- いずれも切除するときには痛みはありませんが、電気を試用する場合は、まれに通電により感電する場合があります。そのため時計やネックレス、指輪などはできる限り外して検査をうけていただくようお願いいたします。
- ポリープ切除をされた患者様では通常の観察より約 3 倍の頻度で偶発症が起こり、その確率は 0.03~0.14%程度です。またポリープ切除をおこなった方では 5000 人に 1 人の割合で腸管穿孔（腸に穴が開く）が起こっています。多くの偶発症は内視鏡治療などで治りますが、場合によっては輸血や開腹手術が必要になる場合もあります。またポリープ切除後の出血はほとんどが 1 週間以内に起こります。そのため 1 週間はスポーツや激しい運動、旅行などは控えてください。

検査手術費用に関しては以下を目安になさってください

- 大腸内視鏡検査のみの場合 3 割負担で 6300 円前後
- 細胞の検査を 1 ヶ所した場合 3 割負担で 10000 円前後
- 細胞の検査を 3 ヶ所した場合 3 割負担で 17000 円前後
- ポリープを 1 個切除した場合 3 割負担で 22000 円前後
- ポリープを 3 個以上切除した場合 3 割負担で 27000 円前後

ご不明な点や検査に対する不安などがありましたらいつでも医師や看護師にご相談ください。

大腸内視鏡検査同意書

大腸内視鏡検査を受けるにあたり、医師からの口頭説明および貴院作成のパンフレットに基づき以下のことについて説明を受け、その内容について理解したので検査に同意します。

- ・大腸内視鏡検査の目的と必要性について
- ・前処置の方法と偶発症、その対応について
- ・鎮静剤に関する事項
- ・偶発症に関する事項
- ・ポリープ切除の方法、偶発症、術後の対応について

年 月 日

住所 _____

氏名 _____

生年月日： 年 月 日

抗凝固薬（血液をさらさらにするお薬）を服用されている方へお薬の名前と休薬についての情報をお書きください。

- ・ (内服中・ 月 日から休薬中)

上記を確認しました。 医師署名 _____